湖月抄

ウ

玉鬘巻

細

巻の名歌をとりて号とせり　河

とおもうづしいうるもそらとぞ名づくらん　花

源氏君八乙女奏する

次第をもてぞ式部卿宮の三月より十二月まで年

いろいろ　源氏君の年数

の年齢　主　十四歳の九月より十二月までのうち乙女をもて

十四歳の八月より六条院の御方　冬　の沙汰あり　其次の九月なるべ

し　そもそも世をよ三月よりの沙汰あり　冬　玉鬘　カツラ　の君はくし

みくのうちにて源氏君乃年齢よりいとをとなびたるよあるべし　只

世をよ古近物語にて玉鬘の君よりめぐりあひく源氏の君

よりもてあつかはれ　云八九月のうちより云ふ　と源氏の君

月よりはうぞふづきあり　宣　乙女の君をよ秋なの中文　世の

人つくりたれ　紅葉の文　ことあり　胡蝶　コテフ　の君　翌　ヨク　年　源氏

君式部の君よりあらう　伊　めや　同　玉鬘　カツラ　の君　源氏君四歳

六条院うせの年九月とるしづし女の巻より明石のうへ
ゆかの巻乃もとゆ神無月より六条院よりうせるうり
ゆ巻乃巻より源氏君夕霧上のうへを宮ゝ(みや)ゆ乃
町よりのもろ人のなげきまいるべうこうげしまとのもろ巻
源氏君四巻の九月といくぐ巻乃上六条院よりうせるねこ
前なるべしもろこしの町とうちまち世てのはりんうの巻 若
明石上の町よりもどきうり女の巻より宮まちはてうりまへ町うり
阪(カデ)より明石上乃ひうこと宮てうりれいがりくそうこうるべ乃巻
はるぐうこうりまうねうあのもゆの町とうちまち世てのうんうさも
あるべ 同巻と源氏君四巻といくぐ若菜巻の上源氏四十賀
の年数よりうんうめう 若 吉本在の巻 法師りい源氏君
七巻ゝうり君八巻の十二月まくぐとうりうれども五葉男み
さうみゝ巻る十二月のうりうく寄り秋の夕乃くぐうるうね

みうるゝ人間あり。法師一年をうゝ下法りのうみや。ゆうゝば
法師りゆうこがつぐ巻乃巻い源氏君六七八巻三年乃
軍巻つうゝく法師の法りゆ一年ゆうくて。ううれの上源乃
四十の賀ゝ年数おゝ長ゆうこ。ゆ哲人の明巻を法色

年月てぐりつもれとて
細殿を出でるお殿の御
よりうりされてゐるみ
方の人ちさとりもわ之此殿
隅未端花の巻より仰うり
御うよりらひ者くゆて
面白しまげ未端の巻
のゐい常続文のうりを
ゆて・をータゲのよる仰
うしひうう人りゐみとい
ひくゐううくうゐわう
殿をの人て今は六条院
を造畢わりて・うても
は院の内よ夕良のを世る
らで一方ゐうげ行ぐを初
とて六条うりうゐくうの
うぐて御ゐ思ゐうぐく
又行くゐバ殿端御つ
さなをさ様るうう仰う
殿御の殿よ乃でざうと
師ゐうぐくのうりと出
さをうれでまげ夕新
のくのうとりひおせを
の海仮畳スウ

年月てぐりつもれとて
ゐ
寄るもれ殿ほんあうぐうくゆ夕ぐ仰を
行ぐとをくうのうぐ人のを
夕良のくゐうう
ぐいげ古をいるよのひううずるねど
細夕良の上のほゆ人五条
うをうのうををのひくうくうゐりの
よ出ぐくうれいふうくのうずよつうまり
をるれくうゐ・ずまよのれうひの行よ
細ひうよハ殿上の中方に海のふ
のくの乃れうさよゐれ人ぐゆのしうくゐ行
行うゐそうをを殿上の方ゐ
をのゆうけうゐよをうくぬゐうくいひを
めくう物よ女ゐもゆげくれどゐのうう
よハ古ゐくのうりの行いまういおくのほう
五条院
孟春
孟夏
孟秋
孟冬
殿上の方ゐ
孟春
孟夏
孟秋
孟冬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小武上洛西川宮様より
ナウりよりうりうる
うりうりうりうりうる
りうんみる
異本ふりうりうる
りうりうりうりうる
りうりうりうりうる
うんみりうり

りうりうり三人　細小武
のりりり

しるべのてをたどりの文
やうさまをいまくし
くめのてをたどりの文
てちらをたどへ　見ハおぼ
らはえちらのもり
作りをとて　えてをる
るし　盃　さとりあり
とえをとさ

いてさなれ経と
細　第六の巻よりて
この方のりし盃日

ひとめくり　細
ぶ　なりてありつさうと
盃ゆ武がみ男女九よ長と

ぶ　ぶ　ぶ　

[illegible]の[illegible]の[illegible]の

中のこと
細見井の関ふく井一の
見とるり
叔母武の乃給ひしことを
あり　細恵のんの乃ひ
孝のんもあるんし出
と西出孝ふし門也と
ゝりおもを張かハ文の
遠ゝとゝふく

[illegible]

ゝふそいてたゝゝゝ乃
細　主張ハ古ゝ乃ゝ
何のまゝくれ乃紀なり
ゝゝ乃くゝゝそ相ハゝ
ゝれと語ゝと国
乃ゝのハ吉ゝゝゝそ相
ハゝゝれ商相　ゝ中人の
ゝの何の空ふてまゝり
ゝゝをゝみゝゝりゝゝゝ
盃ゝ裏ゝよハたゝゝゝ
ゝりと云ゝ為ゝ
ゝの義ゝ
ゝゝゝゝ人ゝ　ゝ乃ゝ
みゝゝゝ仰ゝ乃ゝ
ゝ低借貞観政要ニ氣餐人
低ゝ人　ゝ這人　ゝ
ゝよ　ゝハゝ
ゝゝの乃ゝ

[illegible]

ゝゝゝ文ゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天下うり　細天下と書
よわゝと後く奥よりは
和歌てとうり田舎人
の祝ごとのうたし　乗雲
あらくくしくしもいや
行ごいつくしまうりや
ゆてん　がいうるう所作を
もこのゝてんこゝ
その日ごうりとうよ
盃ゆうへよりて来とこ
おくや　花ゆ　ゆ
ゆくこゝんみごくこ
このこて　細三月いこの
こその月こ和歌ゆ
うれど商庭をこのん
人こゆし　仲三月いこの
年の終こて嫁取の出
忌ようとうふこ
天みり　天　肥前国松浦
郡鏡明神へ太宰少弐
資元廣徒ゝ異こみでこ
山八神功皇后のれうこ化
してゐとうれうを焼山
というう。うれをも後の祢

細天こ監ゝ祝
まゐ祝ゝ
つれ
こうまうり
あのれよう
こその日ごう
やりるこ
監ゝよう
これいや
監ゝ
祢をう
こうこ
盃ゆ
こゆ
こゆ
こ

そやこはいつよ　細　監
とぶらふし　盃　表紙
まそやとあり　ア　ア
ふづまそのふく
ひとあふらはさはひと
ふづうく　おまはふはま
して　物と　ぶふ　ぶとい
ひまとぶとぶふのをを
のづふくさそさはひと
ふけり
ぶ人のふ海ふん　細　ぶ人
のふまあふとふふと
もふふふ　ぶふぶ　ぶ
ふふふり　ぶはんのふぶ
ふぶ　ぶ　ふ　ふ
ふづふふふ　ふれんをあ
ふぬふ海よ　ふ　ふふ
ふ物物ふふの　ふふ
の　ふ　ふ　ふ
の　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ

いとこうし　海　不生也
盃おろ〳〵のかいさてあ
らんと
いかゝとこうも
生成みゞ無るか男女ど
捨ておろ〳〵と上海へ
わゝをりといらてよ海
ふるなり

とゝ入りる新てとく
肥前ゝ後つきる
とりゝなり

ゝ海のいとこうし　海　不生也
盃おろ〳〵のかいさてあ
らんと
いかゝとこうも
生成みゞ無るか男女ど
捨ておろ〳〵と上海へ
わゝをりといらてよ海
ふるなり

ゆれはいとこうし　海　不生也
べゝすてくゝこのかゝとよいでゝろあてき
とゝひしゝハ今ハ無りの志とゝいのでせゝひ
て新ろあげいでゝ舟よのりけゝたまの盃
ゝハ肥後よろいきて四月の九日ゝ後よ
ひんゝ日をゝてゝ
りてえんゝすゝ後よくてゝあゝるゝ
あゝ井りゝいゝいひゝくゝゝえゝて
ゝゝゝ

ありこれを　花もてる舟八艘
とゆわくこれをとる
ひぐさのなぐさ　河内国名所
ヒとよひぐさの瀬とあり
神代紀云ひぐさの瀬とあり
瀬八幡宮よりあり俗云ふ
ひぐさの瀬とよぶ
和三光院山城名所よ八幡
市よりあり云云　歌見集
とてひぐさの瀬　ふもろ
ひ方の波のこもれる　を
よそをもろ
海藻のひさかたのうんよ
ふる　海藻の一面うり
ふるんかりも　狩猟監ゲ
ハ
うさ　ふんにひのこ
細　歌撰の命　又伝兵
アを　とそ　又伝兵
用ふ
ふるうり　河内川原　枝ほ
ふふふあり　唐泊　摂津
あり　諸国公のこと
八　鞆泊　とり　花　法行う

まんとうりそれ　吹風
あやうさまぐくるものりぬひくさの
なぐさもなぐさもなぐさもなぐさ　海藻の
やわらんらんされ　舟乃ふやまくらる
ぶうふ　海藻のひさかたうんとう
を　波ゆそうふ　ふふ
えんうさ　ふ
うさ　ふ
ひぐさのなぐさ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ

郷井不得見胡地妻児虚弃捐　白氏文集録戎人　愚按これハ漢より胡国と攻ゐ合ひの軍数て胡国のをびもとよりて書よみしりて四十年とつゐをはよみ漢より胡と
とゐ破しゐハの人漢よりゐゐゐゐゐひ（ゆ人胡国の書よを捨てゐりゐゐゐれて
胡の人ゐゐて漢人ゐれゐゐ　ゐれハ今ゐを捨か紫紫の書よを捨て高ゐ高ゐ
郷よのゐゐ　公略　○ゐゐ叶ゐり文集の源源郷井ハ胡地の名ゐ漢よゐゐてゐく
ゐゐゐゐゐ

（紙文と捨ての）
けよあゐゐのゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
人のゐゐゐゐゐゐゐ（紙）よゐゐのてゐけおゐゐを
ゐのゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
薩之利生道場也十一面二丈六尺 文武天皇御宇ニ德道上人造立之 法道仙人是也神亀
聖武天皇四年 公家被建立堂一宇 細 縁起ニハ唐僖宗皇帝の后ゴウ夫人の願ニ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

元九八参長谷寺市時至椿市今宮交易御朝燈心器等参御堂修訓誦布丈端
明三方灯云云はお絵よお叶へり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年月よそへくくるまつ　細業の上
のあるうもこれくく
き交ひんようみぶれ
へみ松多よりうあへ
き行今よ連く　未詳
とく

まつり物るくく
みるくくのまつり物をを
後の外れまつるよ臣

わるるこの人　細田東パ
うらているくくしてを
見あるとは外ーらこ退
接右出の金陳外へあ物を

ひとわくくるる　五梅学
地こを後外のわく臣
行ををををハみくるるる
くるハをるくくば外行
久くく田金よ作ーあ
ちるくくるるる

兵こ　さと　花太をば
ー内ハ代人兵為をとを
とをひ初ーくるく細兵後
の外のりしれるくば為光例
わり業ーく文の兵ア玉る
どうてをる何左鼎み
こよ外て姓をるて為
太をつるう弄代為を例

たよひるくくたをるりるる細の系を訓人名三
くくくるるまどらひのつるくるり
れ当をれりひるやくてこのけてくくよみん
へみ松多よりうあへ
き行今よ連く　未詳
とく

やくくうまへくるれどうるるあるこ
へどくくてどをのるりみくくるよば後のとけと
たをる陳みくくのるる
わりのどるやくくのるるよくるくくてこて
てのくる
りのるるべくくて折寄
知みるくくし
いれまへよ系まくをるへけるいるどうるあい
でどくくるこくくくやとるのをるくよ
わるるこのへあはあくどるひくくるりの
るどあるのるりのどけいどこの外るくくの

ひくくくくくくくるるれ
を人をるれハ為人人るり為けるるよ
るれどひくくくくるるれ
ぬるるるるくくくくるるくくくくくくく

あり　細宝石間よりあり
いとゝしとゝ　ありあり
らつけらりや　細三条合わよん入て
ナシ
色直しらをとをらく
るゝ　あをとうをらく
るとゝんゝあんゝれ
をらゝゝ　細三条の色
ゝるさゝゝらゝあゝい
あゝらゝゝゝあゝらゝ
ゝゝゝゝゝ　細
らゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

市の高さを三列にして
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よ石つ人ゑ
うり

つとこそ
源氏の君ひとめを案
三のーつ

くのんをあ
ゆくちよ
をりと
ゆくこと
づきより
細お
うれ
あつ
石と
ゆくん

ん
ゆ
ゆ
ゆ

[illegible]
細河海老名太郎
河上龍
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

細 佐川 佐川の神と川 盃右近よ立てじりのうすをさ
ばかりもすぐづり佐よ神をなるもとも 細 お姫男のを言とそのこのすいた
らなど今ら逢ひ事のうれさい神ふもあもとこ
あるつびこらぐくしう
細 こらよけこくこるやう
ぶいをあるこるたり
所ふこうこうもーぐ
こるり
こここ 細 タ魚ふこるう
すこるりぎ飯かるうし元
伏四飯りい第上と井一
よるかて汲よいおろく
をるかくかこりり盃タ
魚いやこくこるけるぐり
なるんこてこーこ
てーをこるよく
細 不給飯ぎいんのこく
生長ふこる不とんみて
なるふく盃おるぐくの紙
をここて飯紫をんまこ京
けこり
こるこりんい里びよこう
細 おるぐくのおいにるる
おるびこるく弄ここび

こるいはあ中びこるく
不よりりてみるるし
人をるくるるん
細 父中ぐびよいりぎまち
逆なるんとるやんざ
つこーよ皆くいめるく
こるるふをこうて物り
くるるふく

いづここを 細 おこりるる
ここるりぎをこるび
よ紙をこ人こるく盃寺
こりこ下面のけのるく
ふをこぐ飯い
師 ふ京こ京よみこう。
おるこくこのるこりのれ
京人こるこるここ

ををこうひこくこ結状風 細 こけくこりの場のこ京く
おこのぐんこりりていをここくこ
けるんこをこよいここ拙いこと表
人をこりんこるんこ。うこぐこここく
こるひこぐここつこるこひ人のるぐこりのつるぐこ。
内座のこく 細 内こ座の座よく
るるいぐのれるこ飯ここくぐのるよこもこ
こここれよどこ。これ拙めくここて結を
盃おこ こけいこくこるこるここのこくこ京こる
こるるいづここここよるどこ京こもこひ
かここて。ここ人こひこどいここんここ
こ。こるこひここ。こをこぐ飯い京座こう
こここここんここりこれい結ここをこくぐいひこ京

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わらはさまをとたのもしく
思ひて
細流の金比羅のとくとくの
ひまゆくとき
盂蘭盆をまつる
をうあ
そんじうまつりて
えんぎりかうしてれを
身とわすれず
をうあ
所数をうねをとり
をうあ
をうあ
をうあ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

細 あるこの中よりえらのうへのやうなりはるかに
ものまちよりのもろ人 細 ものんしんこ 花左近うんぬを夕貞工今世より
つの上九はたらしかるよりはるべきうり上の何より足くうり 源氏の君もさのまこと
人のあり方ものとうぐくよりん 多世の毎中もあくわりこと夕紙いるよりさんく
うりとあり
細 紫上の何第上も四
石上をいとーくうる
くまりいるみなり

とそれうりーうどもあてえるよらう
うくもありーれるぐのまひぐうと
をありーのるまみはうるすべ結ん 夕貞をと
うるはーとのまひるとうこの場くぐを 吟こ 吟こ
ばめざ中ーとんを玉まうり。娘むのいとう 吟こ 娘むの通
つうーけめくるよんりすく 吟結ぐら
うるけ見べやうことうるぞーし要ぐ 函 笠の中こ
しーうんうくのひい九月のくーりも 第三花より
つとぐうの 細早速より八月りうう
くうる結うんうこと。すぐくーくもい
うへわうんうもつうこわうくわうん むかしの女房を生をりもりこ

てたはよ全まるんはだ迎ぬよりて源のうりまひい九月くされいもうり源の年
月よりうんうこりやめ月
うりうりうん年 盃九年うり去宗流へ源らせうつうこうう

みどりうりーめる源。りうーみくいうりりう
らぬんぐも。京ーうりりがひうこうる
どをうこうりよーけくーしびわつめうぐー
てうーうりーを。紙 細 よりに上京ーうりうこ
ぐよりれとうりーてぐれいぐ人まる。 細 よりに上京ーうりうこ
京ーをのびーしひうこうこうれべい
りめうぐーやうの和いーくりーしめつね
時まし
てーくーその人乃いるるぐくいーしをうり
くりーうんをうこうのめ宗よまり思びてわ
ようーうりて。んぐーうりうくのんこうぐく

十月　細一本十五日とも
何もてあそび　盂月
長しやうしの人の　細　為月
盂夕良のもしやさな
さんといかろうしてなど
これより後の花為里人
部領し所花為里へ
ゆかせうんとそうくの
まつて　為物語　ものを
しらう御所　細年さ
のうろこ今年ゆかろう
ハ二月後盂物同　盂十六夕
のうちハ姫ごぜ十六ゆかさと
てせとうろく　に物ゆかろう
なりまして　花異同　花姫也
に姫しハ花姫と云九年
老ろうろうし花物ろう
さ姫老の物ろうのしろう
と物ろうよりろうとろう
中物と　細　夕為月中物と云
まして語てろうろう夕
為月とも作ろのごとくよ

くのろうるごとて十月こごろう物
どうんぐ　細花ろうろう
ろのはうろうよろうろうろう
ろひしろ人のりれうしてどろるさ山
里よろうれのようけうと物ゆかさろ人のあ
ろうぐろうしびもんろうれどしるゆう
しうれろうろいどぐろん女よりろまで
ろうよけうろと物ゆかしぬろうろんさ
けうろうろうろうよどろてうけうろ
しゆうろうれろうよりろうろ中
物ろうけうろうよあろうやいあろ
ゆろのどうろうろまん山どけめろて
物ひいどくうれバひるびうろうし物ろう

くりうろひ物ろうろ
夕為月夕為月物ろ
みろよせいれうあり
くいりびどうれ為
どうろうろ

うろうろうろ　花為里
の物よ御祭ろうろ
ひろうさんもうろて
うれうれいろうろ物
うろうろうろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

と思合もうらんと仰せ
うらうらとゆかしがりて
まて侍のもと　孟他人のもと
いまうまと
みと侍のまうまうまを
もるり

をさのきの　侍の御
御父よの中れ
しく陽ようまいか
しとと
今はりのうめ
孟侍の御
御所
の経みていまをまの也

みとのの
細侍の御
年びは
すくうげを
を
うう
られざう
侍のもよ
どうぞ
ゆ
をあり
わびま
じのれ

ひるばいぐ
ゆやまて
はめ
ぬひま
うでこ
ようつけて
久良上のこと
のこぐも
のびぐこ
えるんここえ
侍氏
めどーの
ひ侍ま
侍氏の
ぐいぐこ
のか
やこのるの
ぐくこへ
ぐひあじの
世の
ぐうつく
れ今はのうぬくく
ばどみもあじど
ぐもこてもこ

かうこ　細　三四業の
御ようのこうこ
せ紙御会こうこ
三こせよ
御の奇乃
御ての
ろいろよ表ようぬあ
らんみこせようぬあ
しこまして蛭の
又母よ持ぐれるを
ろぐのわろ多のこよ
こて以る紙
ろこまろあれと
こ　御おろぐ見こて
をろこのまるよ
つをてなあれころ
いうよあぐれとある
こけての
左也る　おみのこを海
ろを右をよ侍ぐ
うぐこ

よ
どう
ぐ
言
侍
侍
侍

[illegible]

[illegible]

[illegible]

慶義してもろく後ハ[illegible]
[illegible]
けよあるく　細流の傳く八[illegible]
人数を[illegible]　細々書
のむろ[illegible]の[illegible]人[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

あり。男女の装束ハ
ちのり本紙に板引
うりぞこハ異紙に

[illegible]

[illegible]

[illegible]

見るるぐのりんとうとうしあさ花四月れどうひやうまねたりごうつのりし
紅のうわうせ
くりうまくあうさいうつうさ花山吹い表ムうちうう
紅梅たうとうよ　細さてハ宮し
四月のかく　四月し
のの四天皇よりく仰ようう
ようあうしこう御行幸紫
の上よハ公儀と京まな
らぬう源のうつ色紙
ふとうとうう
うぐうんん　作　源の紫の
んをううてうわう紙
ふよ紫のうう梅たうう
ぐ紙雅しまふとうう
色ハやうて源のまぐう
いうんうふよ書籍をく
へもわぐとううう
うぬをうつうし
うううのううんハ　細紫
上の人のうとをうう梅
うんのんうれで源氏の
くハ宮ふ初し　巻源氏
紫の人の紙をうあうん
とまううううんうその

まふ初し　面こう一位帯りうう六位用行のふ初紙に衣裳を以て人のうと批判する人
ううとうの帯たり　細むうう
ううくくうのうふし
まうしう花の源まうに　花郎ハ帯りてかくうう　ハ宮ふ
ぬりうくうう色を語うう
梅のうり枝てふるうしぐう
ひうくふうううううう
ううううようううう
うう　紙こうう花ハ紫し　源ハ
語し　花ううう紙りん
の織物よううう花紫のう
ううう花ハ花ありてう
ううううれうう
よううう　うれうう
うう人のうう源ハ
語し　花うう紙りん
の織物よううう花紫のう
ううう花ハ花ありてう
ううううれうう
よううう　うれうう
うう人のうう源ハ
ぶ人うれ　ふりうう
うう　細
ううううひううめうう
うううう
うううう
うう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なり勢推髄脳ハ公任
口の撥し
[illegible]
[illegible]
[illegible]

やうにてわきうの袋
ろくべーと紫の上のさ
うーしーらーまふとく
ろくけてそ
細く紫の上の結ふ法
おくかり

の衣をうへにてやまこしらや　こそ

おもて紙

くへさんと　細くへーやりてんとあるとられの衣の衣よりとうてくよりあり結勝ちう
法の御身の間ものきにはいしろうとこれぞ事柄のあまり衣ぐれのみちるをあらく
うはをの衣をもーてそ物とあれぐ事柄のあまり衣ぐれのみちるをあらく
ちふふくとあて衣よぐよみまくかくてて衣をくへさんとはのうふまてあくめわう
分のうきけのうきまやーられ物色ばかくよることうりてあると女は通紀をつくて
ものもーちもうしぬてくくくくよりくくくくと分ろうへさりのく
師おりよ人と衣よそんと世人は衣中をつくさくく　少童菩薩の名をとうへて衣の衣と
うちくへーてくくて袈裟ぬれバうとうとうるりあるりありさざりて　まつひ花を紙と衣ものとう
かーさよ衣とくへーまうんとやひやりくく